

第106号

2006

Dec.

12

THE KIZUNA

いとしご増刊

<http://www.eonet.ne.jp/~asn/>

社団法人日本自閉症協会
奈良県支部ニュース

発行人：社団法人日本自閉症協会
石井哲夫
編集人：社団法人日本自閉症協会
奈良支部
支部長&事務局：河村舟二
〒639-1005
大和郡山市矢田山町 84-10
購読料1部 100円
会員は会費に含まれています。

ご協力のお願い

☆日本自閉症協会奈良県支部が行っていますアンケート調査「発達障害に関する実態意識調査」現在 98 件回答が届いています。項目数が多く大変だったと思いますが、ご協力ありがとうございました。なお、締め切り期日は前回の絆で 12 月末日までとしていましたが、1 月 15 日まで締め切りを延ばします。まだ、アンケート用紙をお持ちの方は年末お正月休みの間に時間をとって、是非ご協力下さいますようお願いします。

各市町村が実施する地域生活支援事業の必須事業の一つとして、相談支援事業があります。この事業は、障害者等からの相談に応じ、必要な情報の提供等の便宜を供与することや、権利擁護のために必

障害者自立支援法における相談支援体制の整備について

要な援助を行うことにより、障害者等が自立した日常生活または社会生活を営むことができるようにすることを目的としています。県においては、総合相談支援体制整備事業として、奈良県を奈良、西和、

中和、東和、南和の5つの圏域に分け、奈良以外の4つの圏域に圏域マネージャーを置き、圏域における相談支援ネットワークづくり及び困難な相談事例などに関する助言、指導を行うこととしています。また、県自立支援協議会及び市町村地域自立支援協議会が設置され、障害者福祉に関する地域の諸課題を共有し、その解決に向けた協議が行われます。



アンケート集約

2006年「発達障害者の就労・自立支援のための人材養成事業」第5回 講座 11月26日 アンケート まとめ

■本日の内容はいかがでしたでしょうか?興味深かった点、理解できなかった点があればお書きください。

(教員)

- ・「自立」での取り組みを小・中学校の中で具体化し、実践できるような意味で参考になりました。
- ・とてもよくわかりました。
- ・子供にあった課題を選ぶのは難しく、いつも悩んでいます。今回色々な課題を知り、とても参考になりました。
- ・DVDなども交えて、わかりやすく説明していただきました。やっぱり我々にも視覚的に訴えてもらおうとわかりやすいですね。
- ・机に座って「勉強」というかたちの自立課題とあわせて、日常生活面での自立課題の設定の仕方も大切だと思いました。
- ・自立課題の意味をきき、実際にDVDの中でもどのようなねらい、意図で取り組んでおられるのかという事がきけて良かったです。取り組みの意図が自分の中でより明確になりました。

- ・よくわかりました。
- ・初めの一時間は興味がなかった。(だいたいわかっているため)
- ・目で見てわかりやすくしてあげると、色々なことができるようになるんだなと思い、大変勉強になりました。

(その他)

- ・非常にわかりやすく、大変良かった。

■実践でいかすことが出来そうですか?またそれはどのようなことですか?

(教員)

- ・今すぐ明日からというわけではないですが、今日の話をもってかえり、もう一度考え直してから、実践に取り入れたいと思っています。特に「教え方」は自分も見直し、自分の中で整理して、実践していこうと思います。
- ・DVDを参考に、応用させて利用できるかと思います。
- ・明日からいかしていけるとと思います。自立課題を作っていけるとと思います。
- ・子供たちの自信、自己肯定感、達成感のためにも”わかること” ”できること” から少しずつ課題を取り入れていこうと思います。

(福祉関係者)

- ・「再評価と修正」は本当に大切ですが、どうしても日々の中、

(福祉関係者)

- ・DVDによる具体的な自立課題の例がわかりやすかった事と自立課題の大切さについて納得できる説明があったことが興味深かった。

- ・自立課題についてどのように作り、ご本人が自立に繋がっていくかよくわかり、関わっている方々にお伝えし、私たちも実践していきたいと思いました。

- ・DVDを色々とみせていただき、より実践的に生かせると思いました。今このようなDVDが作られて私たち、療育の現場に携わっている者は、本当に助かります。また、村松先生のお話は、具体的で基本を教えて頂いたと思います。

- ・初級編としては、わかりやすい内容だったと思います。(参加者に保護者が多いようです)

(保護者)

- ・自立の大切さを改めて感じました。
- ・子供が幼い時にこんな話が聞けてたら・・・と思いました。でも今からでも遅くないはず、先生のアドバイスどおり、たくさんの種類の課題をためして、新しい興味(好きなこと)を探していきます。
- ・講演をきくのは初めてでしたが、わかりやすく内容を理解することができました。

いろんな課題を参考にしていきたいです。

仕事に追われ、おざなりになりがちです。でも、これが大切だと改めて感じました。

- ・自立課題について、具体例が参考になったので、それをいかしていきたい。

- ・在宅で日中活動の内容について行き詰まっている方々にワークシステムからお伝えすると大きなヒントになるかと感じています。また、実際に関わらせていただいている発達障害のある方々の課題作りにも大きなヒントになりました。

(保護者)

- ・家で出来そうな感じなのでマッチングとかをしてみたいと思います。

- ・課題作りに挑戦してみたいと思います。
- ・身近な物を使って、達成感を味わえるように作成したいです。

- ・はんこ(封筒)の押す課題がとっても感動しました。なるほど～でした。

(その他)

- ・ボランティア活動に大変役に立ちます。

■今後どのようなテーマの勉強会に参加されたいと思いますか?

(教員)

- ・コミュニケーションの支援(特に表土面)についての勉強が

したいと思っています。

- ・実際に作るなどやってみるのもよいと思います。

(福祉関係者)

- ・発達障害のある成人の方々が自立的に生活されるために、必要な支援について。
- ・発達障害ベースで二次三次～障害により精神障害者となっている方々が少なからずおられます。「行動障害」ととらえられる行動を少しずつ社会的に受け入れられる行動に置き換えることを事例を通して、教えていただける機会を。
- ・行動上の問題について。
- ・年齢の小さいお子さんをお持ちの家族の方が、自分の子供さんの将来をイメージ出来るような内容がよいのではないのでしょうか？
- ・いつも濃い内容での勉強会で有意義なものだと思っています。やはり実践のお話などを聞かせていただくとか、また本人さんのお話（自閉症スペクトラムの成人の方）などがきけるといいなと思います。
- ・自立支援法

(保護者)

- ・自閉症スペクトラムの方のおはなしをお聞きしたいです。
- ・構造化の方法
- ・コミュニケーションをうまくとれるような支援方法

(ルールのある遊びや、友達と関わって遊ぶ方法など)

- ・幼稚園、未就園児への対応（低年齢の支援方法）
- ・ST、OTの訓練紹介
- ・おすすめの玩具紹介
- ・手作りおもちゃ
- ・アニマルセラピーにも興味があるので話をきいてみたいで

す。

- ・自閉症の思春期～青年期のことについてなど
- ・親がだんだん老いていく中、どうしていいか・・・
- ・実際の課題などを作る。体験的な講座があれば、参加してみたい。
- ・まだまだ知らないことばかりなので、いろんな勉強会に参加してみたいです。

(福祉関係者)

- ・時間と場所の許す限り参加させていただきたいと思いま

す。

06.11.15 開催 サロン川西 報告

於 教育研究所 本館

出席者： 中村美和先生 、ポップコーン：楠本 、ディジー：濱田 、川西 LD：松村、アスカ：馬場・中谷・高瀬・辻

自閉症協会：湯浅・渡邊 、あるふあ：村山、パンジー：宮寄・岡田 、奈良学習発達支援センター：前川

各会より

○川西 LD

11 月 18 日（土）勉強会 オプトメトリストの奥村先生を招いて。

○ディジー

12 月 3 日（日） メイン講師 … 河村 宏 氏（国立身体障害者リハビリテーションセンター）

他 講師 … 西岡 有香 氏（大阪医科大学 LD センター・神戸 YMCA）

田中 和美 氏（枚方市立さだ中学校）

○自閉症協会

11 月 26 日（日）

連続講座 第 5 回「自立課題について」

講師 … 村松 陽子 氏（よこはま発達クリニック

京都市児童福祉センター・児童精神科医）

12 月 3 日（日）「アスペルガー症候群の支援者必須のソーシャ

ルストーリーズ」

講師 … 服巻 智子氏（それいゆ相談センター長）

講演 & ワークショップ

1 月 6 日（土）連続講座 第 4 回 振替&映画

AM：講演「わかるように伝えてもらうために考える」（予定より変更）

講師 坂井 聡 氏（香川大学 教育学部障害児教育講座）

PM：映画上映「自閉症の子どもたち」・「マラソン」

アンケート協力をお願い「発達障害実態アンケート」

奈良県内在住の 発達障害を持つ子どもの保護者 対象

○あるふあ

相談支援活動 開始 … 計 6 回の勉強会企画

主に東和地区対象 支援者の勉強会

第 1 回 11/4 でいあ～ 東相談員を招いて。

本人活動 … 高校～社会人本人（約 40 人）の活動 及び

活動支援 11/11 奈良県 ロックンソーラン大会 出場

○アスカ

関西福祉科学大学 大学祭 参加 11/12

フリーマーケット（本人も参加）、ファンタジー個展 … 本人の作品 展示

1 月 7 日（日）国際アスペルガー年記念セミナー in 奈良

AM：講演 辻井 正次氏（NPO 法人 アスペ・エルデの会）

PM：シンポジウム … 姜 昌勲 氏（きょう こころのクリニック院長）

山本敏久 氏（教研 特別支援教育係長）

小島秀一 氏（奈良障害者職業センター 職業カウンセラー）

○ポップコーン

・会員対象 芋ほり & バーベキュー with 希望者お泊り会
11/3

・12月10日（日）JDD-Net 総会 出席予定

・公開講演会 “できたら” 企画予定

○パンジー

11月19日（日）近畿ブロック主催 講演会

「発達障害のある人にやさしい 法律相談」

講師：辻川 佳乃 氏

○奈良学習

11月19日（日）アートクラス開催 陶芸 作品の野焼き（本
焼き）…田んぼにて 新聞紙で作った窯で！

18日（土）準備お手伝い募集中♪

○教育研究所

・12月6日（水）高等学校コーディネーター養成講座開催

・高等学校よりの研修や講演依頼が増えてきた

H18 ボランティア養成講座について

1. 各日程調整

☆第4講 公開講座 補講 11月29日（水）10：00～ 教
育研究所 本館

☆第5講Ⅱ 音楽療法

1班 12月2日（土）生駒市

2班 12月9日（土）生駒市

☆第6講 疑似体験 補講 12月中に！ 田部井さん
のご都合次第…

☆第9講「ボランティアの基礎」1月17日（水）10：00～
教育研究所 本館 講師：西川 優子 氏

第5講Ⅰ 絵画療法 の補講は 音楽療法 1班・2班のいずれ
かを適用

第5講Ⅱ 音楽療法 1班の補講は 2班を適用

以上 第6講補講 以外 確定！

2. 第7・8講 サポート実習について

協力校は 現在 7校・園の申し出あり

→ HP 上に 受講者一覧登録

（当面はサロン川西のHP 内予定 → 県民生活課 HP へ移
行予定）

・氏名 ・年齢 ・性別 ・連絡先

・「できること」（得意分野 や 学校の中でお手伝いできる

項目 等）

次回 サロン川西

12月13日（水）10：00～ 教育研究所 本館 にて

サロン川西 06.11.15 参考資料

生駒市スクールボランティアプログラム

地域の子どもたちがよりよい学習環境の中で安心して校園生
活が送れるよう、地域の皆さんの“得意”を生かしてお手
伝いしていただくとともに、活動をとおして地域も共に育つ、
それが「生駒市スクールボランティアプログラム」です。

例えば、小学校では「登校時の安全指導」、「図書の整理・
読み聞かせ」、「校内見回り」、「校庭の花壇整備」など、
幼稚園では「教具・教材の製作」、「読み聞かせ」、「園内
見回り」、「伝承遊びでの交流」などです。

下表の生駒市立小学校や幼稚園では、スクールボランティ
アとして活動していただける地域の方を募集しています。み
なさんが培ってこられた経験や技術、知恵や工夫を、この活
動をとおして、ぜひ地域の子どもたちのために生かしてくだ
さい。

○ボランティアの分野（内容）

○教育支援ボランティア

体験談、平和学習・異文化体験等、読み聞かせ、伝承文化、
遊びの指導、栽培指導など

○環境活動ボランティア

校内施設の補修・整備、草刈り・樹木選定・植栽・水やり、
動物の飼育、教具・教材の制作、ホームページの作成や更
新など

○課外活動ボランティア

図書の整理、クラブ活動の補助、語学サポート、校内見回り、
学校行事の手伝いなど

募集校園 … 生駒北小学校、生駒台小学校、生駒東小学
校、俵口小学校、高山幼稚園、生駒 台幼稚園、俵口幼
稚園

対象 … 募集校園の区域に住む 18 歳以上の人（高校
生を除く）

それ以外の区域に住む人については応相談。ただし市内に
住む人に限ります。

（グループの場合は、活動拠点が生駒市内にあること）

自閉症に関するセミナー紹介

■ 第1回アメニティー・ネットワーク・フォーラム

受講コースに2つあります

A:「ポスト自立支援法を展望する」コース

B:「発達障害の豊かな世界」コース

主催:

アメニティーネットワーク・フォーラム実行委員会

全国地域生活支援ネットワーク 代表 田中正博

日時:2007年2月2日(金)12:30

2月4日(日)13:00まで

会場:大津プリンスホテル「コンベンションホール淡海」

参加費:A・Bコース共通2万円、交流会・宿泊、食事別途

参加申し込み・問い合わせ:

〒520-3202 滋賀県湖南市西峰町1-1 第1回アメニティー・ネットワーク・フォーラム実行委員会

電話 0748-75-8210 FAX0748-75-8270 9:30~

17:30の間

■ 兵庫教育大学 2月

第1回全国特別支援教育コーディネーター会議 in 神戸

全国各地の特別支援教育コーディネーターやその関係

者、研究者等が一同に会して、指名・活躍・養成・研究の成果と課題を共有し、今後のあり方を明らかにすることを目的として、開催します。

主催:兵庫教育大学

日時:2007年2月10日(土)10:30~16:00(10:00受付)会場:神戸市立灘区民ホール

参加費:無料

参加申し込み:申し込みフォームからお願いします。定員になり次第締め切りとなります。

プログラム:↓

<http://www.hyogo-u.ac.jp/ssecc/>

■ 発達協会 2月

2007 春のコミュニケーション・セミナー/専門講座

(社)発達協会では、来年2月に、発達障害とコミュニケーションに関する8つのテーマで、セミナーを開催します。1日に3人または2人の講師の先生方にお話いただきます。

1日単位の開催ですので、1日のみの参加が可能です。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

2/11(日)

A 子どもと変える、子どもが変わる…発達障害をもつ

子への評価と指導の実際

1「子どもを変えようことばがある」湯汲 英史(発達協会)

2「身体づくり・動きづくり」 倉持 親優(発達協会)

3「ひとりのできる!をめざして」武藤 英夫(発達協会)

2/11(日)

B「気になる子」への保育の実際…発達障害という視点から理解する

1「発達障害とは何か」原 仁(横浜市中部地域療育センター)

2「人と関わる力を伸ばす」 一松 麻実子(発達協会)

3「幼児期に学んでおきたいこと」丸山 美和子(佛教大学)

2/12(月・祝)

C. 自閉症スペクトラムへのコミュニケーション指導

1「自閉症スペクトラムをもつ子どものコミュニケーションの特徴」

藤原 加奈江(自閉症療育臨床心理士グループ スクエア)

2「関わりができてにくい子どもへの指導」 長崎 勤(筑波大学)

3「コミュニケーションを広げる指導」 藤岡 紀子(愛媛十全医療学院)

2/12(月・祝)

D. コミュニケーション能力を高めるあそびやゲーム…豊かな関わりを求めて

1「うごく・あそぶ・楽しむ」 小林 芳文(横浜国立大学)

2「こころとからだのほぐしあそび①」 二宮 信一(北海道教育大学)

3「こころとからだのほぐしあそび②」 二宮 信一(北海道教育大学)

2/17(土)

E. 軽度発達障害をもつ子への支援…通常学級での指導の実際

1「軽度発達障害をもつ子への理解」 坂爪 一幸(早稲田大学)

2「クラスづくりのポイントとは」 佐藤 暁(岡山大学)

3「子ども同士の関わりへの支援」 佐藤 暁(岡山大学)

2/18(日)

F. 軽度発達障害への理解と支援…指導に役立つ評価の仕方・とらえ方

1「知能・発達検査でわかること・参考にすべきことーWISC-IIIを中心に」

服部 美佳子(作新学院大学)

2「評価の読み取りと、指導への生かし方(1)ー能力

がアンバランスな子」

岡田 智（ながやまメンタルクリニック）

3 「評価の読み取りと、指導への生かし方（2）ーボーダーラインといわれる子」

岡崎 慎治（筑波大学）

2/24（土）

G. 発達に合わせた課題えらびと教材・教具…認知やことばの力を促すために

1 「発達に合わせた教材とは」 立松 英子（都立南大沢学園養護学校）

2 「一人ひとりに会わせた教材作り」 中村 典男（都立王子第二養護学校）

3 「ドリルでまなぶことばの力」 三好 純太（言語・学習指導室葛西ことばのテーブル）

2/25（日）

H. 軽度発達障害へのソーシャルスキル・トレーニング

1 「軽度発達障害をもつ子どものソーシャルスキルの発達と特徴」

安住 ゆう子（NPOフトゥーロ LD発達相談センターかながわ）

2 「SSTの実践プログラム」

三島 節子（NPOフトゥーロ LD

発達相談センターかながわ）

3 「コミュニケーションスキルを高めるために」

長岡 恵理（多摩市子ども家庭センター）

スケジュール：第1講 10:00～11:45 第2講 13:00～14:30 第3講 14:50～16:20（受付開始 9:30～）

場 所：東京ファッションタウン（TFT）ビル（東京都江東区）

受講料：8,800円／1日（会員 8,000円／1日）

・1日単位の開催ですので、1日のみの参加も可能です。

定 員：各講座約180名

主 催：（社）発達協会（正式名称：社団法人 精神発達障害指導教育協会）

詳しい内容のお問い合わせ・お申し込みは・・・

〒115-0044 東京都北区赤羽南 2-10-20

TEL 03-3903-3800 FAX 03-3903-3836

◆最新情報は、随時ホームページにてお伝えしていきます。

・発達協会ホームページ <http://www.hattatsu.or.jp>

お申し込みはホームページより承っております。

■ よこはま発達クリニック 3月

よこはま発達クリニック 2007年春のセミナー

「TEACCHの今」

アメリカのノースカロライナ大学で始められたTEACCHは、現在、自閉症の子どもや大人への最も実践的で優れた対応であるといわれています。このセミナーでは、TEACCHについての最新の情報をご紹介します。

特別支援教育士資格更新のためのポイントが1ポイント取得できます

【日時】2007年3月21日（水・春分の日）

10時～16時30分

【場所】順天堂大学有山記念館（東京都文京区、JR・地下鉄御茶ノ水駅 徒歩5分）

【受講料】早期申込割引

(a) 2007年1月31日付けまでの入金の場合

9450円（税込）

※受講申込時に「本当のTEACCH」（内山登紀夫 著、2006年 学研、定価1800円）をご注文いただく場合、11250円（本の消費税および送料サービス）

(b) 2007年2月28日付けまでの入金の場合 10500円（税込）

※受講申込時に「本当のTEACCH」をご注文いただく場合、12300円（本の消費税および送料サービス）

2007年3月1日以降に入金の場合 12600円（税込）

※受講申込時に「本当のTEACCH」をご注文いただく場合、14400円（本の消費税および送料サービス）＊学生割引はありません

【講師】

内山登紀夫（児童精神科医、よこはま発達クリニック院長・大妻女子大学教授）

※1994年 シャーロットTEACCHセンターにて研修「本当のTEACCH～自分が自分であるために～」(学研・2006)、「ふしぎだね!? 自閉症のおともだち」・「ふしぎだね!? アスペルガー症候群のおともだち」(監修)(ミネルヴァ書房・2006) ほか著作多数

田中恭子（精神科医、益城病院・よこはま発達クリニック）

※2005年9月～2006年6月 ファイアットビルTEACCHセンターにて研修

黒田美保（臨床心理士、よこはま発達クリニック）

※2005年9月～2006年8月 ウィルミントンTEACCHセンターにて研修

【内容】

＊TEACCHプログラムの基本的な考え方について（内

山)

＊ノースカロライナ州における自閉症の医療の現状、長所、問題点などについて (田中)

＊ノースカロライナ州における自閉症の学校教育、TEACCH センターにおける学童のグループ指導などについて (黒田)

＊質疑応答 (内山・田中・黒田)

【申込方法】

・お申込みの受け付けは、先着 250 名様で締め切らせていただきます。

・ハガキまたは e-mail、ファックスに下記内容を明記して、よこはま発達クリニックあてお送りください。入金確認後 1 か月以内に受講票と会場地図をお送りします。

<記載内容>

①『2007 年春のセミナー TEACCH の今』受講申込
※「本当の TEACCH」購入希望の場合は、「本の購入を希望」と追記してください

②氏名

③連絡先住所・電話 /FAX 番号・email アドレス (あれば)

④口座振込人名義

⑤振込み金額

⑥振込み日

・2007 年 3 月 1 日以降は、定員に余裕があるかどうかをご確認の上、お申し込みください。

・ご都合でキャンセルされる場合は、3 月 7 日までにご連絡いただければ、受講料を返金いたします。(振込手数料は差し引かせていただきますので、ご了承ください。)

・上記個人情報は本セミナーの実施に必要な事柄に限定して使用いたします。

<振込先>

みずほ銀行港北ニュータウン支店 普通 1417748 よこはま発達クリニック

<連絡・問い合わせ先>

〒224-0032

横浜市都筑区茅ヶ崎中央 7-7 レスターテ港北 2F. よこはま発達クリニック

電話：045-942-1077 FAX：045-942-1099

ホームページ：http://www.yppdc.net e-mail：info@yppdc.net

＊今後もクリニック主催セミナーなどの案内をご希望の方は、クリニックホームページ (http://www.yppdc.net) からお申し込みください。

■ 日本自閉症協会 本部事務局 1 月

日本財団助成事業

「自閉症児者の家族支援の人材養成事業」

わかりやすい自閉症基礎講座

～自閉症スペクトラムの基本概念と対応～

本講座では、自閉症の概念、発達、予後、基本的アプローチなど、自閉症についての基礎講座知識を 3 つのモジュールに分けて分かりやすくレクチャーします。

自閉症についてもっと理解したいと思っている幼稚園や保育園、学校の先生、企業の皆さん、ガイドヘルパーやホームヘルパーなど福祉サービス事業所の皆さん、一般市民の皆さん、そしてもちろん自閉症児者をお持ちのご家族の皆さん、たくさんのご参加をお待ちいたしております。

主催 社団法人 日本自閉症協会

後援 東京都社会福祉協議会

とき 2007 年 1 月 13 日 (土)

ところ 日本財団 2F 会議室

http://www.nippon-foundation.or.jp/org/profile/address.html

講師 金生由紀子 (東京大学医学部附属病院「こころの発達診療部」)

ださい)

定員 200 名 (定員になり次第、締切ります)

プログラム 内容が変更になる可能性があります

12:30～13:00 受付

13:00～16:00 自閉症に対する基本的理解

自閉症のアプローチの基本 (支援) 自閉症の家族への支援 Q & A

申し込み方法

①お名前 (ふりがな) ②〒・ご住所 ③TEL・FAX

④ご職業 ⑤会場 (東京) をご明記の上、下記まで FAX・E-mail・はがきでお申し込みください。

〒104-0044 東京都中央区明石町 6-22 ダビィンチ築地 2 6F

社団法人 日本自閉症協会 TEL03-3545-3380

FAX03-3545-3381

E-mail: asj@autism.or.jp

＊受講票は特にお送りしませんので、当日会場まで直接お越しください。尚、定員を超えた場合はご連絡いたします。

参加費 1,000 円 (参加費は当日会場にてお支払い

■川崎医療福祉大学エクステンションセンター
TEACCH 部主催

2007年 TEACCH モデル実践報告会

日程：平成19年3月3日(土)～3月4日(日)

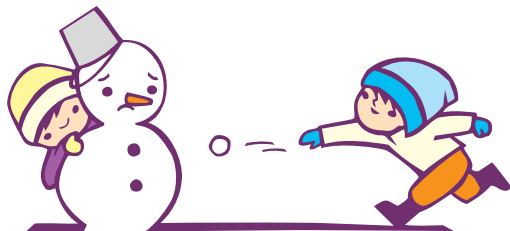
場所：川崎医療福祉大学 川崎祐宣記念講堂

参加費：5000円(1日のみ3000円)

報告者：多田寿子・浅井郁子・富永久美子・福田年之・
金子啓子・井深允子・寺尾孝士・小松博昭・西村浩二・
佐藤賢治ほか

参加申し込み専用アドレス <http://okayama-knt.net/teacch>

電話 086-464-1022 FAX 086-464-1149



第13回 奈良 YMCA 軽度発達障害理解講座

軽度発達障肌用・者への関わり方

ーLD・ADHD・高機能自閉等の理解のためにー

いよいよ2007年度より特別支援教育が本格的に導入されることとなり、LD・ADHD・高機能自閉等の軽度発達障害についての理解とその対処法が、これまで以上に教育現場や家庭に求められています。

奈良YMCAでは1997年以来軽度発達障害児・者へのサポートに取り組み、毎年理解講座を開催して参りました。今回は、午前中に大阪医科大学の竹田契一先生に特別支援教育の最新情報についてお話し頂き、午後からは奈良教育大学の岩坂英巳先生にペアレントトレーニング、ティーチャートレーニングを中心に、保護者・教師の関わり方についてお話し頂く予定です。

◆日時 2007年1月28日(日) 10:30～15:30

◆会場 奈良県文化会館小ホール 奈良市登大路町
(近鉄奈良駅徒歩約5分)

◆講師 竹田契一先生 大阪教育大学名誉教授 大阪医科大学客員教授

岩坂英巳先生 奈良教育大学教授

《プログラム》

；10:30～『4月から始まる特別支援教育で学校はどう変わるか』竹田契一先生

12:00～休憩

13:00～『ADHD・高機能自閉の子どもたうへの保護者・教師の関わり方』ーペアレントトレーニング、ティーチャートレーニングを中心にー

14:40～まとめ 竹田契一先生

質問への回答 竹田・岩坂先生

◆定員 先着250名(託児はありません。)

◆参加費 ￥1,000(午前の部又は、午後の部だけの参加の場合も同額です。)

◆申込先 下記へ事前にご予約いただき、当日会場にて参加費をお支払い下さい。

◆主催 (財)奈良YMCA

◆後援 日本LD学会 奈良県教育委員会
奈良市 奈良布教育委員会 国際ソロプチミスト奈良

◆(お申し込み・お問い合わせ) 奈良YMCA教育センター

TEL0742-44-2291 FAX 0742-44-2292 E-mail
watanabe@ymcajapan.org



☆ 11月26日 **事務局から** 講座で講師の村松陽子先生が紹介した「子どもの自立課題」のDVDが完成しました。講座でもふれられていたように、これは内山・村松・幸田・中山先生たちによって作られたものですが、ノースカロライナ大学医学部教授 TEACCH 部部長 ゲーリー・メジボフ監修で本場米国でも絶賛されているものです。親のみならず奈良県の学校では是非備え、特別支援教育に役立ててほしいものです。申し込み問い合わせ：朝日新聞厚生文化事業団朝日福祉ガイドブック・DVD 係
〒104-8011 東京都中央区築地5-3-2 電話 03-5540-7446 FAX03-5565-1643
DVD名：わかる・できる！親と教師のための自閉症の子どもの自立課題
第1巻自立課題の選び方 第2巻自立課題の作り方
第3巻自立課題のできあがり
各巻定価 4,800 円 (3巻セット特別価格 13,500 円)

☆ 12月6日付で平成19年度独立行政法人福祉医療機構「地方分助成」に社会福祉法人奈良県社会福祉協議会から推薦した旨の連絡がありました。選考結果は平成19年3月頃連絡があるようです。なお、応募事業名は「自

自立支援法」が施行された。「障害者施策の3障害一元化」、「利用者本位のサービス体系の再編」、「就労支援の抜本的強化」、「支給決定の透明化、明確化」、「安定的な財源の確保」を法律の大きな柱として掲げ、平成18年4月からのサービス利用者への応益負担(1割)の実施、10月からの新事業体系への移行が開始された。発達障害に対する支援や「発達障害者支援法」との法的関連等の課題については3年後を目処とした検討という形で先送りとなされた。「障害者自立支援法」施行以降、自閉症・知的障害の障害特性が反映されない「障害程度区分」の問題、報酬単価の日額払いの導入・新事業報酬単価による減収に伴う運営とサービス低下の問題等、私たちが当初から危惧していた問題点が露呈した。

このような状況の中で、自閉症者の支援に特化し、その障害特性に応じた専門的な支援サービスの提供とサービスの創造を中心的課題として先駆的・開拓的に実践を積み上げてきた私たち全自者協にとって、その運営的課題や支援課題を明らかにし、自閉症者が地域社会の中で安心して生きていくことができるための障害者福祉制度改革に向けた具体的、積極的な提案、問題提起をすべき時に立っている。

全自者協20回大会という一つの節目の大会を迎え、

閉症児者の自立生活・就労支援事業」です。事業計画についてご希望ご意見ありましたら支部役員までお知らせ下さい。

☆「障害者自立支援法の中で自閉症者施設はどう立ち向かう」

第20回全国自閉症者施設協議会 京都大会

日時：2007年2月8日(木)・9日(金)

会場：京都テルサ(京都府民総合交流プラザ)

奈良県には自閉症者専門の関係施設は1つも無いという残念な状況ですが、全国の自閉症施設関係者が一堂に集まり討議されます。厚生労働省からも行政説明にこられます。奈良県の行政の方々及び各福祉施設運営者の方々も、この近隣京都で開催されるよい機会ですので、参加していただきたいものです。問い合わせ電話 0771-53-0571 京北やまぐにの郷、要項支部事務局にもあります(河村)

■ 大会趣旨 《障害者自立支援法の中で自閉症者施設はどう立ち向かう》

平成18年4月、「障害の有無にかかわらず国民が相互に人格と個性を尊重し安心して暮らすことのできる地域社会の実現に寄与すること」を目的とした「障害者

このような厳しい状況の中で、それぞれの施設、地域が抱える支援や運営課題についての情報の共有化を行うとともに、今後の実践と活動の方向性についての討議を深めることを目的として、「障害者自立支援法の中で自閉症者施設はどう立ち向かうか」との大会テーマを掲げた。今大会が「自閉症者の人権と生きるための発達保障、自立ならびに社会参加」実現への今後の展望を模索し、情報共有の「場」となることを望んでいる。

